

市長とのかがやきライフトーク

と き：平成20年11月10日（月） 19：00～20：30

ところ：茶房 とお山

団 体：いき粋墨俣創生プロジェクト（17名）



【団体】

墨俣地区には一夜城をはじめ犀川の桜堤、アジサイ、美濃路墨俣宿、寺町界限などがあります。地域資源を生かしたまちづくりをしたいと考え、昨年9月にいき粋墨俣再生プロジェクトを立ち上げました。空き店舗が目立つなかで、観光客が利用できるおみやげ処や脇本陣を週末に運営しています。桜まつりの時期には毎日営業しています。オリジナルのお菓子を開発して、墨俣の名物にしようとも考えています。

2月には市制90周年記念事業の市民手づくり事業として、つりびなを作って商店の軒先に飾るなどの「いき粋墨俣 つりびな小町めぐり」を梅まつりにあわせて開催する予定です。

【団体】

夏まつり、天王祭などには、多くの観光客などが集まり、街の中が賑やかになります。平日は人通りもなく商店街も閑散としています。大型スーパーができ、雇用されて喜んでいる方もみえますが、やはり、街の中のお客さんが減少してしまっているのが寂しいです。

【市長】

大垣の駅通りも、年末などには多くの人が集まり、大変賑やかでした。しかし、同じように郊外のスーパーができると人通りが少なくなりました。

【団体】

墨俣のほとんどの各町内には本神輿と子供神輿があり、お祭りのときには練り歩いてとても賑やかでしたが、街の中で高齢化が進むと同時に担ぎ手が減っており、各町内で苦勞しています。せっかく神輿があるので河川敷や小学校に集まり、町内を練るなど賑やかなお祭りになればと思っています。

【市長】

せっかくの神輿ですから、眠らせておくのはもったいないですね。十万石まつりのときには商工会議所で、担ぎ手の募集をしたりしていますが、墨俣でも皆さんに担いでもらいたいですね。

【団体】

人口が減少し、衰退していくのも時代の流れですが、これからどういうまちづくりをしていくのかが問題だと思います。長浜市・近江八幡市のように全国から観光客が訪れるような賑わいがあり、活力のあるまちづくりを行っています。

商店街を活性化させることも大切ですが、歴史を生かし、町並みを整備していくことも必要ではないかと思います。空き店舗を利用して憩いの場をつくったり、道の駅を整備したりすると、多くの人が墨俣に寄ってもらえると思います。私たちの力だけでは限界がありますので、行政の方でも考えてもらいたいです。

【市長】

桜まつりのときには、多くの観光客が訪れていただけてますが、残念ながら街の中心からは外れてしまっていますので残念ですね。

【団体】

バスで一夜城に来られる方が多くいますが、街の中は道が細くバスなども入れませんし、Uターンすることもできません。また、バス停が古くて分かりづらいという意見もありますので、バス停を整備して分かりやすくし、駐車スペースも確保できると観光客も呼び込めるかもしれません。

バス停から街の中に入ってもらえるには、よほど整備しないといけませんし、いろ

いろな観光マップなども作ってPRしないといけません。史跡の看板はありますが、商店が載った看板がありませんので、整備できるといいと思います。

道路を整備してウォーキングコースを作ったり、倉敷の美観地区のように風情のある石畳や看板もいいですね。

岡崎城の横を流れる川の中に噴水が整備してあります。一夜城にも川の中に噴水があると景観がよくなると思います。

【市長】

商店などを載せた看板は行政ではできませんが、商工会などをお願いしてみるといかかもしれませんね。

【団体】

桜まつりなどイベントがあるときは河川敷の駐車場を利用しますが、普段使用されていないため、もったいないと思います。休みの日には子供たちがスケートボードなどを楽しんでいますので、スケートボードの大会など全国から人を呼べるような大会を誘致してもおもしろいと思います。

有料の駐車場に駐車して訪れる方がいるかという疑問ですが、街の中まではちょっと遠いですが無料で駐車することができますので、ウォーキングコースなどを整備すると、健康づくりを行いながら観光できるスポットになると思います。

【市長】

犀川の河川敷は水辺の楽校を整備しているところですが、駐車場も利用されないのではもったいないですね。一夜城・あじさい街道・桜堤などには人が集まってもらえるけどどうやって街の中に引き込むかですね。

【団体】

休日になると、河川敷でバーベキューを楽しむ方がたくさんいますので、その方たちを街の中に呼び込む魅力をつくることも大切だと思いますが、バーベキューをされる方が増えると、河川敷のゴミも増えているため清掃活動が必要になっています。

また、夏の夜中に河川敷で花火をする方も増えて騒音問題や花火が民家の方へ飛んでくるなど危険もあります。ゴミを持ち帰らないマナーの悪い方も増えています。

【団体】

桜まつりのときなどはボランティアを募集して清掃活動を行っています。ゴミが多ければ桜を見に来てくれている方たちに申し訳ないという思いで、長年ゴミ拾いをしている方もいますので一緒に参加していますが、参加者が少ないため、子供会などで参加してもらえるとありがたいです。

保育園や小学校の子どもたちが、授業の一環として中でゴミ拾いなどの清掃を行うことも大切ではないでしょうか。子どもたちがゴミ拾いをしている姿を見れば大人たちが捨てられないという効果もあると思います。

【市長】

学校の総合学習の中で、先生方も一緒になって清掃活動することも大切ですね。高齢者の方も、ゴミ拾いをしながらウォーキングされている方もみえますから、子供から大人まで皆さんが意識を持っていただけるといいですね。

【団体】

家庭の日の清掃活動をやっていると、堤防には酒のびんや弁当の空箱など大量のゴミが捨てられています。美化デーやクリーン作戦などには学校や地域の方が自発的に参加してもらえるといいのですが、なかなか参加者が増えません。

学校でも校内の清掃だけでなく、PTAの方たちと一緒に地域の清掃をしてもらえると助かりますね。

【市長】

学校も学習の一環として清掃活動ができるといいですね。完全週5日制になり時間数が減ったため難しいのかもしれませんが、時間をつくることも必要ですね。

【団体】

犬の散歩中にフンの後始末をしない方が多いので、市で看板をいただいて立てていますが、朝晩の人目のないときには後始末をしない方が多いため困っています。

墨俣地区全体で犬のフンの後始末をしっかりとするようなキャンペーンを行うと、皆さんに意識を持ってもらえるのではないかと考えています。

【市長】

美しいまちづくり条例が施行されてから、皆さんが後始末をするように意識を持ってもらっていると思っていましたがそうではないのですね。

【団体】

堤防がありますので犬の散歩コースにもなっているみたいです。犬のフンも多いですがゴミも目立ちますね。

美しいまちづくり条例は努力規定のようなものに思われますので、もっと厳罰化してもいいのではないのでしょうか。

一人がフンをさせると他の人もさせますし、ゴミも同じでゴミが捨ててあるところには、また誰かが捨てるというような傾向があると思います。

【市長】

きれいなところにはなかなか捨てにくいですよ。確かにそういう傾向はあるかもしれないですね。犀川堤は墨俣のセールスポイントですから、日頃から皆さんの力できれいにしていただけると、ゴミを捨てる人も減るのじゃないかな。

【団体】

郷土史の研究家の話を聞いて思ったことですが、一夜城、美濃路墨俣宿、船着場など墨俣の歴史が誰にでも分かるように映像で紹介できるようなミュージアムがあるといいと思います。郷土史を研究している方たちも高齢化していますので、歴史を伝えるためには今のうちにやっておかなければならないと思います。街の中には空き家もありますので、そのような場所を活用してもいいと思います。

【市長】

周辺部にはいろいろありますが、街の中にはありませんので、街の中にあると人を呼び込むことができるかもしれませんね。寺町や美濃路などもあるがセールスポイントとしては弱いかもしれません。また、資料館だけでも人を呼び込むことは難しいかもしれませんので、人が集まるような魅力あるスポットが必要であると考えます。

ゴミについては美しいまちづくり条例をもっと効果の上がるものにしていきたいと思っています。

墨俣地区について認識不足な点がまだまだありました。本日いただきましたご意見等につきましては実行できるものから進めてまいりたいと考えています。